

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 2月14日

【評価実施概要】

事業所番号	272000282		
法人名	社会福祉法人宏仁会		
事業所名	清風荘グループホーム		
所在地 (電話番号)	〒039-3321 青森県東津軽郡平内町小湊字薬師堂63-23 (電話) 017-755-5531		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 11月 12日	評価確定日	平成 20年 2月 14日

【情報提供票より】(平成 19年 10月 23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 人, 常勤換算 8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	3,000 ~ 冬季6,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200円		

(4) 利用者の概要(10月 23日現在)

利用者人数	8 名	男性 2 名	女性 6 名
要介護1		要介護2	3 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	名
年齢 平均	90 歳	最低 83 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	たざわクリニック・平内中央病院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホームは和風を基調とし、家具や装飾など昔を懐かしむことができるよう配慮している。日常生活は、その人らしい生活が送れるよう本人の思いを尊重したケアがなされている。立地については、多少は民家から離れているが、地域との交流や入所前の関係を保てるよう外出支援を行って対応している。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>入居者の金銭管理についての改善状況は、家族と管理方法を決め毎月出納状況を郵送にて報告している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己・外部評価の結果を職員会議や運営推進会議で報告し、評価を基に改善に向けての話し合いをもち、対策へ繋げている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>定期的に運営推進会議を行い記録をしている。また、運営推進会議をホーム内で行うことにより、現場に即した意見の聴取や委員が現状を見て理解を深めてもらうことができている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族面会時または電話で、近況報告や要望・意見などを聞いている。また、毎月グループホーム新聞を家族へ郵送し、生活の様子をお知らせしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>買い物や施設行事・地域行事などへ積極的に参加し、他者と触れ合う機会を作っている。民家から離れているため買い物に出掛けた時など、顔なじみの関係が築けるように模索中である。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者と職員が一緒に話し合い、一人ひとりの生活を尊重した事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月に1度の会議やケアを行う時など理念に添った対応ができていないかを振り返る場を設け、職員全員で理念への理解を深めるよう努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	施設行事や地域行事などへ積極的に参加し多くの人と触れ合う機会を作っている。		民家から離れているため、買い物へ出掛けたときなど自然と顔なじみの関係が築けるように模索中である。そのため、今後このような機会が増えることを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己・外部評価の結果を職員会議や運営推進会議で報告し、評価を基に改善に向けての話し合いをもち対策へ繋げている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を行い記録している。運営推進会議をホーム内で行うことにより、現場に即した意見や違う側面から物事を見て頂けるため問題解決に向けた取り組みが行いやすい。実践の状況をビデオで見てもらい、利用者の現状や対応、ホームでの取り組みなど理解してもらえるように努めている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>問題解決に向けその都度連絡をしたり、運営推進会議で情報交換をし問題解決に取り組んでいる。</p>		<p>地域ケア会議の場などでケース検討をし、認知症への理解やネットワーク作りのきっかけにしたいと考えているため、今後の活動に期待したい。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会や会議などを利用し学ぶ機会を設けている。権利擁護を利用している方がおり、カンファレンスへ参加し制度について身近に感じれるよう努めている。</p>		<p>権利擁護に携わったケアマネから講義をしてもらうことで、職員の制度への理解を深めるよう努めているが、利用者の支援に結びついていない。今後の取り組みに期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人で行う研修会へ参加し虐待について学んでいる。また、日々のケアが虐待にならないように職員同士で確認しながらケアを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に、重要事項説明書等の書面で説明を行っている。また、事業所の取り組みや、本人、家族の意向を確認しケアの方針を決め対応する旨を説明している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や電話などで状態報告をしている。また、毎月グループホーム新聞と金銭の出納報告を家族へ郵送している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族面会時に対話をし、要望や意見などを伺い確認をしている。</p>		<p>アンケートを実施し、隠れた要望や意見などを引き出していきたいと考えているため、今後の活動に期待したい。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>顔なじみの職員が、利用者と新しい職員との間に入り馴染みの関係を作り混乱を避ける工夫をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人で行う研修の他に、グループホームの職員を対象とした年間の内部研修計画を担当を決めて実施している。		年間計画を立て研修を実施しているが、外部研修とも掛け合わせた研修を行うと、より新しい情報があり向上にも繋がると思われるため、今後の取り組みに期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	見学者や実習生・ボランティアなどを受け入れ、外からの目や意見を取り入れているが、他事業所との交流はできていない。		外部研修参加時等、他事業所スタッフと関わる機会を活かし、情報交換や交流の実現へ向けての取り組みに期待したい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に併設施設の短期入所生活介護を利用し、ホームに来てもらい職員や雰囲気馴染めるように配慮した支援を実施している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者一人ひとりが生活の中で、掃除機がけや洗濯物たたみ・炊作り等の役割を持っており、それぞれのこだわりを尊重した支援を提供し、入居者・職員が互いに支えあう生活を送っている。収穫できた作物は、みんなでおいしく頂いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の生活の中で、本人の言葉や表情から思いをくみ取れるよう努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>習慣や役割、思いなどを汲み取り援助方法を決めている。また、家族の意向も取り入れた介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じてアセスメントの実施がなされており、計画を作成している。また、状態変化時にはその都度、アセスメントから介護計画の見直しを実施している。</p>		<p>面会時、または訪問により介護計画に対する家族の意向を確認し反映しているが、できることなら家族同席でのカンファレンスの実施が望ましい。過去に数回の実績があり、今後の取組に期待したい。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人の要望に応え、外出(帰宅・行事参加)や必要なケアができるよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医や法人の協力医と連携を図り、情報交換なども密に行っている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ホーム内で看取ったケースはないが、今後、重度化、終末期について勉強会を予定している。</p>		<p>終末期に対する本人、家族の意思確認や医療関係者との関係作りを構築していくことが望まれる。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>本人を傷つけないよう声掛けなどさりげなく行えるよう配慮している。また、個人情報の取り扱いについて職員に秘密保持の徹底を図っている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人のペース、思いを大切に理念に添って支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>配膳や盛りつけなど利用者の能力に合わせた役割を持ってもらっている。月に1度食事会を企画し、利用者の希望に答えるよう工夫している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>毎日入浴できる環境を整えている。時間も本人のタイミングに合わせて入浴してもらっている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>本人の性格や興味のある物へ取り組んでもらい、生活の活性化を図っている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>気分や天候に合わせ散歩やドライブなどに出掛けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	勉強会を実施し、共有の認識を図っている。		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	日中は自由に出入りできるようにしている。夜間は防犯の為鍵を掛けている。		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年2回、消防署の協力を得て、避難訓練、通報機器の取り扱い方の訓練を行っている。		利用者が参加しての訓練は実施できていないため、今後利用者参加の避難訓練に期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	食事の摂れなくなった利用者に対して、医療機関へ相談したりその都度補食を行っている。定期的に管理栄養士からアドバイスをもらい食事のバランスを図っている。		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	利用者・家族及び職員にうがい・手洗いを意識付け徹底している。インフルエンザ予防接種を行い、マニュアルも作成している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
34	78	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設の特徴を活かした家具や装飾を行っている。光の明暗を使い分けそれぞれの空間の雰囲気作りを心掛けている。利用者がくつろげるようにソファや畳を配置し、個々に好きな場所で休んでいる。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や写真を置き安心できる環境作りを心掛けています。		

 は、重点項目。